



# Mother Pirika

## マザーピリカ

発行：マザーピリカ（美利河ダム水源地域ビジョン推進会議）  
協力：北海道開発局函館開発建設部 美利河ダム管理支所

このニュースレターでは、マザーピリカ（美利河ダム水源地域ビジョン推進会議）の活動をみなさんにお伝えしています。

## 「カヌーで後志利別川を下り、海まで行こう！」

とき：8月26日 日曜日

ところ：後志利別川

一昨年、美利河小学校、花石小学校の児童と先生方が中心になって始まったこの企画は、最終ゴールを海（河口）にしています。3年目の今年は住吉橋下流から今金橋上流まで下りました。

### カヌーの漕ぎ方の練習



今年は、住吉橋下流からスタートです。



体にあわせてパドル選び



2人のコンビで操船します。舵の取り方も習いました。



「パドルはしっかり水につけて、漕ぐ」



カヌーに大切な水筒を縛ってます。



### スタート



カップルで参加してくれました。



余裕のVサイン！

### お弁当タイム



沈してひっかかったカヌーを救出中です。

### 発見①



この石は「頁岩」といい、この質の良いものが石器の材料になります。写真の石では、柔らかくて石器になりません。

### 発見②



カワセミの巣穴です。



こんな難所もありました。



### ゴール



# “食はケミストリー”プロジェクト第1弾 マザーピリカ「溪谷歩き」

とき：10月7日 日曜日

ところ：メップ川支流

溪谷歩きは、地域の自然がもたらす食の資源（山菜、川魚、キノコ）などを自分で採って、調理して、楽しもうという企画の一環で行いました。今回はまず溪谷を歩き、山や川に慣れることからはじめ、次年度は、山菜の季節、キノコの季節に合わせて行いたいと考えています。

※溪谷歩きリーダー 渡辺茂さん（マザーピリカメンバー）にお願いしました。

## メップ川の風景



メップ川の意味  
「メップ・ナイ 寒き川」（永田地名解）という解釈と  
「メム 湧泉のある池」の転訛との解釈があるそうです。



メップ川は、「保護水面」だそうで、一切の水産動物の捕獲が禁止されています。

この淵には、みんなが歓声をあげるほど、相当大きい「奴」がいました。



ムム…！魚影！

水中の様子。  
「魚見えますか？」



「溪谷歩き」ですが、こんな場面もありました。

## 難所



ルートを切り開く渡辺リーダー。カッコイイ！

クレソンがありました。

こんなところにキノコが！？



拡大写真  
「ヤナギダケ」

天然マイタケの天ぷら  
美味！美味！美味！！

## お知らせ

●「カヌー工房」がオープンしました！！

マザーピリカでは“自分達でカヌーを作り、活動で使ってみよう！”というイベントを始めました。今金町内にカヌーの製作場所を確保し、9月6日にオープン式を行いました。現在、マザーピリカメンバーを中心に製作中です！



工房の様子



製作中のカヌー



おつかれさまでした。

Mother Pirika(マザーピリカ)は美利河ダムや後志利別川流域の資源を活かしながら今金町や周辺地域の活性化のために活動している住民組織です。

●お問い合わせ：マザーピリカ代表 永井 章まで。 TEL: 0137-82-0032